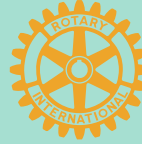




BE THE INSPIRATION

Miyazaki Higashi Weekly

Rotary



D 2 7 3 0

Rotary Club of Miyazaki Higashi

No. 15

November 19, 2018

President : Yasunori Murakawa
Secretary : Minoru Matsushita

Miyatacho Bldg.10-25,Miyata-cho,Miyazaki,Japan 880-0804
Tel: 0985-24-4872 Fax: 0985-22-0288

2018~2019年度
国際ロータリーのテーマ

インスピレーションになろう

入りて学び、出でて奉仕せよ

会長タイム

村川 保訓 会長



皆さんこんにちは。本日も、ロータリー「超我の奉仕」を実践され、「ロータリーの綱領・目的」を果たすべき、例会に出席して頂き、ありがとうございます。

例会に出席することで、今週もロータリアンとしての資質向上間違いなし。会社、事業の発展は間違いなしであります。どうぞこれからの一時間を有意義なものとして過ごしていただきますようお願いいたします。

さて、前週に続き、11月は、「ロータリー財団月間」であります。「ロータリーの友」の中で、

ラシン RI 会長の巻頭言を読まれた方もいることと思います。RI 会長は、世界大会への参加出席によってロータリーへの世界観が変わったと述べられています。それまでは、所属クラブ、地区ぐらいいしか思っていなかったが、世界中から集まったロータリアンの熱気と行動力を感じてその素晴らしい活動に目を開き、心を広げてくれた。と。

日本のことわざに「百聞は一見に如かず」というのがあります。何につけても自分の目、耳、手、鼻、口という五感を通して体感することが一番確かなものとして身につくのではないのでしょうか。

最近では、インターネットによってまた、バーチャル体験でいかにも実体験のごときことができるようですが、しかしこれは作られた情報であり、自分の体で感じるものとは少し違うように思います。

年齢が高くなるといろいろと障害も出てきますが、私たちもできる限り自分の体力を信じて、いろいろなことに挑戦していきたいものです。

そうすることで普段の行動において、「インスピレーションになろう」のテーマが実践されるように思います。

以上で、会長挨拶といたします。

今週のプログラム

第913回 例会 2018年11月19日(月)

- ・会長タイム ◎クラブ研修卓話
- ・幹事報告 久寿米木和夫 委員長
- ・委員会報告 中川 彰伸 副委員長

来週のプログラム

第914回 例会 2018年11月26日(月)

- ・会長タイム ◎ロータリー財団委員会アワー
- ・幹事報告 野田 素裕 委員長
- ◎会員卓話
- ・委員会報告 平見 映介 会員

ゲスト卓話

児童養護施設 青島学園

園長 蔵屋 貴浩 様

2016年から、社会奉仕活動の継続的な支援対象先である青島学園の蔵屋貴浩園長の卓話をいただきました。



1. 青島学園の概要

設置目的は、保護者のいない児童、虐待されている児童、その他環境上養護を要する児童の入所養護施設です。昭和27年に県立施設として開園し、同42年に社会福祉法人宮崎県社会福祉事業団に運営委託され、児童定員50名、職員36名です。未就学児～小中高、原則18歳までです。入所理由は、養護で入所し、過去に虐待を受けた児童も入所しています。

心理療法・被虐待児個別対応・家庭支援専門相談・里親支援専門相談・発達障害対応・社会的自立支援（コモンセンスペアレンティング）等の専門的な支援も行っています。

2. 社会的養護の現状と取り組み

社会的養護とは、保護者のない児童や、保護者に監護させることが適当でない児童を、公的責任で社会的に養育し、保護するとともに、養育に大きな困難を抱える家庭への支援を行うことです。社会的養護は、「子どもの最善の利益のために」と「社会全体で子どもを育む」を理念として行われています。

- (1) 全国の統計では、対象児童は約4万5千名です。内訳は里親委託5千名、ファミリーホーム1千名余、児童養護施設2万6千名余、他乳児院、自立援助ホーム等があります。
- (2) 要保護児童数の推移では、ここ十数年で、里親等委託児童数は約3.1倍、児童養護施設の入所児童数は微増、乳児院が約1割増です。
- (3) 里親制度は、家庭的な環境の下で子どもの愛着関係を形成し、養護を行うことができる制度であり、里親等委託率は、平成18年3月末の9.5%から、平成29年3月末には18.3%（宮崎県は12.1%）に上昇しています。
- (4) 虐待を受けた児童数は、20年前の3千名

未満状態から12万名余に急増しています。これは、DV等（ドメスティックバイオレンス、パートナー間暴力）を子どもが目撃することを心理的虐待に当たるとしたことが急増の一つの要因です。

(5) 職員研修と良い職場環境づくり

里親や施設職員からの虐待の問題に対しては、青島学園では、毎朝「職員倫理綱領」を唱和しています。施設では、24時間の見守りが必要であり、職員には交代勤務での厳しい勤務があります。青島学園では、3年前は定数16名を11名の職員でしたが、今年度は24名定数を23名に漕ぎ着けました。

小学校と提携してのケース会議、発達障害理解研修会、コモンセンスペアレンティング、職員間での連携等に努めています。

3. 新しい社会的養育ビジョン

児童福祉法改正で、子どもが権利の主体であること、実親による養育が困難であれば、里親や特別養子縁組などで養育されるよう、家庭養育優先の理念等が規定されました。

里親登録の方法をお話します。相談・受付は、里親普及促進センター宮崎です。

基礎研修は、座学（1日）、実習（1日、各児童養護施設での概要説明と見学）です。更に、登録前研修で、座学（2日）と実習（2日、各児童養護施設での子どもとふれあい）を受講いただき、全過程終了後児童相談所から修了書と申請書が送られてきます。児童相談所に申請書が出されると家庭調査が行われ、調査結果により登録に問題なければ審議会にかけられ了承されると里親登録されます。



(文責 社会奉仕委員会 委員長 中村健一郎)



例会記録 第912回 2018年11月12日(月)

プログラム

・会長タイム ・幹事報告 ・委員会報告

◎ゲスト卓話

児童養護施設 青島学園

園長 蔵屋 貴浩 様

出席状況報告

11月12日	第912回	10月29日	第910回
会員数	29名	会員数	29名
出席数	19名	出席数	22名
出席率	65.52%	修正出席率	75.86%

メーカーキャップ 後取り：矢野間浩司 君

メーカーキャップを積極的に行いましょう。